

江津商工会議所 地域経済動向調査報告（概要版）

令和7年度 第1四半期（令和7年4月～6月）

- （１） 調査時点 2025年7月25日時点
（２） 調査方法 郵送・回答フォームにより実施 回答 55件
（３） 調査対象 当所会員名簿から業種のバランスを考慮し抽出

1. 景況天気図

特に好調	好調	不変	不振	極めて不振
				
$50 \leq DI$	$25 \leq DI < 50$	$0 \leq DI < 25$	$\Delta 25 \leq DI < 0$	$DI < \Delta 25$

DI とは…（増加・好転・過剰の企業割合）－（減少・悪化・不足の企業割合）

前年同期比	全業種	製造	建設	運送	卸・小売	飲食・サービス
売上高	 ▲ 7.3	 ▲ 18.2	 ▲ 8.3	 33.3	 ▲ 21.4	 0.0
資金繰り	 ▲ 13.2	 ▲ 9.1	 ▲ 8.3	 ▲ 20.0	 ▲ 14.3	 ▲ 18.2
業況	 ▲ 11.1	 ▲ 18.2	 ▲ 8.3	 0.0	 ▲ 7.1	 ▲ 18.2
採算 （経常利益）	 ▲ 5.5	 ▲ 9.1	 0.0	 33.3	 7.1	 ▲ 41.7
雇用(今期水準)	▲ 40.7	▲ 27.3	▲ 58.3	▲ 83.3	▲ 21.4	▲ 36.4
在庫(今期水準)	0.0	0.0			8.3	

2. まとめ

令和7年度第1四半期の地域経済は、持ち直しの傾向がみられるものの、依然として厳しい状況です。売上高は卸・小売業を除いて回復基調にあります。増加と回答した事業者の66%が経営上の課題として「仕入・材料価格の上昇」を挙げており、価格転嫁に対応するための増加である可能性が高いです。資金繰りでは飲食店や卸小売業が悪化の傾向。採算は悪化していると回答した27%が飲食サービス業によるものでしたが、全体ではマイナス幅が減少し、緩やかに回復しています。従業員不足についても継続して深刻な状況ですが、特に運送業では人手不足と人件費が深刻な課題のようです。一部業種で課題の優先順位に変動は見られるものの、前回調査に引き続き、高コストと人手不足が経済全体の主要な足かせとなっている様子がうかがえました。